



# 委員会だより 平成22年度の活動計画について

## 総務・教育委員会

- (1) 未請求事務再発防止策の検証と委員会としての提案について
  - ① 職員倫理条例制定を提言するため、平成21年度に調査を実施していましたが、このたび、市側から再発防止策の一環として、平成22年度中に職員倫理条例制定に取り組み意向が表明された。今後、議会に条例提案された段階で議論することを確認している。
  - ② 委員会として政治倫理条例制定に向け、9月をめぐりに取り組むこととした。毎月1〜2回の委員会開催をベースに精力的に推進する。
- (2) 西いぶり広域連合の取り組みとの連動と調査研究について
  - ① 平成25年度をめぐりに消防の広域化が計画されていることから、市と歩調を合わせた調査研究を進め、特に消防本部との連携も強めた所管事務調査を推進する。
  - ② 定住自立圏構想の取り組みとも連携して、情報提供のあり方や開示方法についても調査研究を推進する。
- (3) 補助金・助成金のあり方の調査研究および事業仕分けの進行管理について
  - ① 昨年に引き続き事業仕分けが試行されることを念頭に、テーマの選定や議論内容の分析を進め、鋭意提言の取りまとめを推進し

## 生活・福祉委員会

- (1) 市民生活部の所管について
  - ① 市民活動のあり方（町内会活動について・市民活動センターの運用）
  - ② 不法投棄の状況・防止活動
  - ③ 消費者行政（多重債務者支援・消費生活全般）
- (2) 保健福祉部の所管について
  - ① 保健福祉にかかわる民間団体の状況
  - ② 障害者自立支援法に係る各種事業の実態
  - ③ 子育て支援（児童虐待防止への取り組み）
  - ④ 感染症予防対策
  - ⑤ 第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗よく状況
  - ⑥ 「福祉のまちづくり条例」制定の進捗よく状況などを各種団体等との意見（情報）交換や、現地視察を行い進めることとする。



▶ 多重債務について意見交換を行った生活・福祉委員会

## 観光・経済委員会

- (1) 水道事業について
 

室蘭市側からの水利権移譲、水道施設の共同使用など、3月26日に分水解消へ向け両市が基本合意を交わしたところである。今後は平成23年4月の分水解消に向け基本協定、実施協定など、施設利用についての条件精査が行われる。当委員会ではその先の問題である老朽施設の更新、独自水源の検証など、市民のための安心、安全、安価を目指した水道事業のあり方について調査を継続する。
- (2) マリンパークについて
 

将来の登別観光の展望を見据え、総合的判断の見地からさらに調査を進めていく。
- (3) 懸案事項について
  - ① 温泉供給事業
  - ② 職業訓練センターの運営
  - ③ サンライバスキー場の業務委託による運営状況
  - ④ 市内経済の活性化
  - ⑤ 観光産業の振興

など山積する課題に対し、市民、各関係団体の意見を伺いながら、継続的な調査、研究に取り組んでいく。



▶ 共同使用する室蘭市千歳浄水場